

令和2年度第1回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

- 日 時：令和2年6月26日（金）午後1時30分～2時45分
- 場 所：本庁北庁舎3階 第一会議室
- 出 席：（敬称略）
（委 員）（8名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、六波羅 昭、小西 信生、成瀬 こずえ
（事務局）（2名）桑田 浩、塚原 二郎
- 欠 席：（敬称略）
（委 員）（1名）内山 雄太
- 議 事

1 新任委員について

黒坂委員が異動のため後任に成瀬委員が就任された。また、事務局の高橋副主幹が異動となり後任に桑田副主幹が着任した。

3 報告（進行の都合から報告よりはじめた）

まず、コロナ感染症予防対策として本日は午後3時までに議事を終えるように時間を短縮して進行しますので、ご協力をお願いします。

- (1) 令和元年度第12回検討調整会議事録の確認。了承。
- (2)・(3) コロナ感染症予防対策に伴う環境保全活動センター事業の影響について。

センター事業について4月から8月末までの期間はすべて中止とした。現在は、9月からはかんきょう塾を開催する予定。当初予定の日程、内容で9月以降も開催するが、12月についてはグループ発表がないので、7月に開催予定であった東京農工大学の伊豆田先生に講演をお願いした。10月頃の森キッズ Day in 浅間山公園は、開催予定日が学校の授業との兼ね合いが不明のため未定である。エコクッキングについても未定である。また、1月にかんきょう塾の追加講座としてセンターサポーターである表氏に講義をしていただけないかお願いしている。2月の特別公開講座は会場、講師の手配はできている。3月は公開講座自然散策を開催したいと考えている。

市内のイベントで実施の有無をどのような基準で判断されているか調べて、それらに合わせセンターのイベントも判断する必要があるのではないか。

打ち水日和について、今年度は市役所西玄関などでコンパクトにできないか検討しているとしたが、委員から去年は子どもたちが群がる状況

でありコロナ感染症予防対策がしっかりできないならば実施は控えるべきだとの意見が多くあったため、今年度は打ち水の実演を中止し道具などの貸し出しや打ち水の説明書などをセンターで配布する方向で進めることとした。

かんきょう塾については、講座の会場が100人規模であり受講生及び関係者を含め約30人であることから、各人の間隔を十分にとり換気をこまめに行うなどの対策が取れることから実施に向けて準備を進めている。

なお、1月の追加講座については地球温暖化の現状の紹介といった内容でも十分に受講生に関心を持ってもらうことができるので、表氏の講義の方向で検討をお願いしている。

かんきょう活動センターだより第34号が発行したが、コロナ感染症予防の対応でイベント等が中止となっているため、記事がいつもと異なるものになっている。また、センターが本庁舎に移転したことを掲載した。

1 議題

(1) 環境保全活動センターの今後のあり方等について

⇒ 検討資料を用紙1枚にまとめて要望書とした案を用意した。市が作っている環境基本計画やいろいろな環境施策の中に環境パートナーシップ構築と活用を前面に出しているが、体制や施設が不十分なためこれが実際には機能していないということをアピールした。後段では、前回の面談で市長からの質問について回答している。今回、初めて内容をご覧になるので次回の検討調整会でご意見を伺いたい。

あり方等検討資料については、事前にメールで送ったものに若干の修正等を行っている。基本は、細かい事項や正しい名称などの修正を行った。その内容は次のとおりである。4ページの用語のESGをESDにした。7ページのセンターの対象とする範囲の図について6つの対象を5つにした。また、活動写真を入れた。8ページの表の項目と9・10ページの項目の標記を合わせた。13ページの環境パートナーシップの図を新しく作った。15ページのセンター施設内容の面積表示を削除した。20・21ページのステップ1の期間を2020年度末まで延長した。22・23ページの表の記載を一部変更した。裏表紙を写真入りで付けた。

以下、委員からの意見

- ・13ページの図について、これまであった推進体制図と今回の図が同

じ内容を示すものなのか。そうであれば内容が正確でないので、この図が独り歩きした場合に問題が起きないか。違うものであれば図のタイトルを変えるべきである。さらに以前の図と差別化するのであれば、3者の配置を大きく変えるなど視覚的にも違いがわかりやすくした方が良い。

事務局：図についてはいくつか案を作りタイトルも変えてみる。

- ・今、世界的に取り上げられているSDGsについてセンターが関わることでもっとアピールできないか、そういったことも入れられないか。
- ・現在は様々な環境に関する用語があるので、これらの用語の説明を充実した方が良い。
- ・今後のスケジュールはこのとおりに進めることができるのか。大丈夫なのか。

事務局：掲載しているものはこれまで検討用の案としてあげられていたもので、これをたたき台として外部との調整を行いたい。

- ・新庁舎にセンターのスペースはないのか。

事務局：ない。

- ・要望書をまとめるうえで、前段を主旨として、何が必要でその理由をはっきりさせることで、回答をもらえるようにしなければならない。
- ・あり方等検討資料の目次の項目だけで内容がわかるようにストーリー風にし、そのページが項目の説明となるようにする。
- ・センターを整備するために費用がどのくらいかかるのか、市民・行政にとってメリットがあるのか、といったことをはっきりさせ費用対効果面からもやるべきと認められるようにしたい。
- ・もともとセンターを作った目的があるのでその目的を示す。

本日の使用した資料のデータを送り確認作業に使ってもらう。次回の会議でこれらの資料について改めて意見を伺う。

3 その他

- ・次回開催日程を決める。

■次回開催予定日

令和2年度第2回府中市環境保全活動センター検討調整会

(通算 115 回)

日 時：令和2年7月20日（月） 午後1時半～

場 所：本庁東庁舎8階 会議室A